

平成23年度 実施結果

兵庫森林管理署

| | |
|-------------------|---|
| 取組名 | 木材の安定供給体制の整備（継続） |
| 流域名 | 揖保川・加古川・円山川流域 |
| 実施箇所及び実施日 | 西播磨地域木材安定供給協議会に出席：兵庫県西播磨総合庁舎外（平成23年5月31日、6月30日、8月19日、平成24年1月23日） 製品販売（システム販売等）：河原山外2国有林（平成23年6月～平成24年3月） |
| 取組の背景及び必要性 | 大型製材加工施設、（協）兵庫木材センターが平成22年12月から稼働（平成23年度の原木取扱量104千m ³ ）しており、圏域における生産量の確保、木材の安定供給体制の整備が必要となっています。 |
| 取組の内容 | 【これまでの取組内容】 <ul style="list-style-type: none">・兵庫県産木材安定協議会、西播磨地域木材安定協議会、木材産業等意見交換会への参画により、木材需給・供給の情報交換・計画的な素材生産を行うための素材可能量調査・県産木材供給センター等へ木材の安定的供給 【平成23年度の取組内容】 <ul style="list-style-type: none">・西播磨地域木材安定協議会に出席し、木材需給・供給情報の意見交換・河原山外2国有林から、システムで9千m³、委託で3.4千m³を製品販売 |
| 国有林担当部局・役割 | 森林管理署業務課 (企画、実行) |
| 連携協働相手先・役割 | 兵庫県、宍粟市、西播磨流域森林・林業活性化センター、森林組合等林業事業者、（協）兵庫木材センター (企画、実行、協力) |
| 取組の結果、反響、今後の課題等 | 平成23年度の製品販売では、計12.5千m ³ を実施しており、そのうち、林地残材は1.8千m ³ 販売しました。また、（協）兵庫木材センターへ3.6千m ³ 搬入しました。 |
| PRの実施状況及びその期待する効果 | PR：各種木材安定会議等で周知、検討されています。 効果：（協）兵庫木材センターでは、本格稼働によりH25年度は現在の約2倍にあたる256千m ³ の原木利用が計画されています。 |

【 参 考 資 料 】

| | |
|-------|------------------|
| 取 組 名 | 木材の安定供給体制の整備（継続） |
|-------|------------------|

○林業事業体による生産現場（宍粟市：河原山国有林）



○(協) 兵庫木材センターで国有林材を市売（スギ丸太）



平成23年度 実施結果

| | |
|---------------------------|--|
| 取 組 名 | 民有林との共同施業団地の設定と施業の連携（継続） |
| 流 域 名 | 揖保川流域・円山川流域 |
| 実施箇所及び実施日 | 連携した林業専用道を作設（宍粟市三室地域の民有地 680m） 美方郡美しい森林づくり推進協定を締結（平成24年3月10日） |
| 取組の背景及び必要性 | 共同施業団地を設定済みであり、団地内での一体的な路網整備等による低コスト化、森林整備を図る必要があります。 |
| 取組の内容 | <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美しい森林づくりに関する覚書」に基づく民国連携施業の体制構築 ・共同施業団地（宍粟市三室地域・福知地域）を設定 ・宍粟美しい森林づくり推進協定締結〔属人協定：宍粟市〕 <p>【平成23年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宍粟市三室地域で連携した林業専用道を設置（民有地 680m） ・美方郡美しい森林づくり推進協定締結〔森林農地整備センター外4者〕 |
| 国有林担当 部局・役割 | 森林管理署業務課 （企画、実行） |
| 連携協働相 手先・役割 | 兵庫県、宍粟市、香美町、新温泉町、しそ森林組合、北但西部森林組合、兵庫みどり公社、森林農地整備センター（企画、実行、協力） |
| 取組の結果、 反響、今後の 課題等 | 署と宍粟市との属人による「美しい森林づくり推進協定」締結後、平成24年度に署が民有地で林業専用道（700m）の新設を予定しています。今後、森林農地整備センター、兵庫みどり公社も属人協定の加入が検討されています。また、兵庫県北部の「美方郡地域」でも推進協定が締結されました。 |
| PRの実施状 況及びその期 待する効果 | PR：関係機関内の広報誌及び各種会議で周知。 効果：属人協定では、民国連携を契機として、今後は民民連携も期待されます。 |
| | |

【 参 考 資 料 】

取 組 名 民有林との共同施業団地の設定と施業の連携（継続）

○兵庫森林管理署が民有林内に連携作業道を新設
（宍粟市千種町 藤ヶ谷林業専用道）



○民国連携に向けワークショップを開催



○行政機関等関係者が集まり森林林業について懇談会を実施



平成23年度 実施結果

| | |
|-------------------|---|
| 取 組 名 | 低コスト生産システムの民有林への普及（継続） |
| 流 域 名 | 揖保川・加古川・円山川 |
| 実施箇所及び実施日 | 森林作業道作設オペレーター育成研修を実施 （宍粟市鍋ヶ谷国有林：9月6日～10日） |
| 取組の背景及び必要性 | 当署管内には、高性能機械林業を導入し、低コスト生産システムを実現している事業者があり、民有林にも普及、定着が必要です。 |
| 取組の内容 | <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県、西播磨流域森林・林業活性化センター、宍粟市などと連携して高性能林業機械を使用した低コスト生産システム現地検討会を開催し普及を促進 ・低コスト生産システム現地検討会の開催 ・低コスト生産システムの説明資料（パンフ）を作成 <p>【平成23年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コスト路網生産システムについて、視察・検討会を実施（33名） ・森林作業道作設オペレーター育成研修を実施（主催：フォレスト・サーベイ、受講者：八木木材、杉下木材、しそ森林組合外7社） |
| 国有林担当部局・役割 | 森林管理署業務課 （企画・実行） |
| 連携協働相手先・役割 | 兵庫県、森林・林業活性化センター、林業事業者 （企画・実行・協力） |
| 取組の結果、反響、今後の課題等 | 森林作業道作設オペレーター育成研修では、指導者（講師）の養成・確保及び技術力のレベルアップが図られました。また、各種視察等では国有林のフィールドを提供しました。 |
| PRの実施状況及びその期待する効果 | PR：現地視察・検討会を通じ、関係機関へ情報を通知。 効果：民有林での低コスト生産システムの普及、定着が期待されます。 |
| | |

【 参 考 資 料 】

| | |
|-------|------------------------|
| 取 組 名 | 低コスト生産システムの民有林への普及（継続） |
|-------|------------------------|

○森林作業道作設オペレーター研修（宍粟市：鍋ヶ谷国有林）



○低コスト路網生産システムの視察・検討（宍粟市：河原山国有林）



平成23年度 実施結果

| | | |
|-------------------|--|---|
| 取組名 | 森林吸収源対策による林業事業体の育成等（継続） | |
| 流域名 | 揖保川・加古川・円山川 | |
| 実施箇所及び実施日 | 労働基準監督署と合同パトロールを実施 （宍粟市河原山国有林：8月1日、宍粟市天児家国有林：11月18日） | |
| 取組の背景及び必要性 | 「地球温暖化防止森林吸収源10ヶ年対策」により追加的な間伐等の森林整備が必要であり、これらに対応できる林業事業体の育成及び労働安全が求められています。 | |
| 取組の内容 | <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業事業体の育成 ・ 労働基準監督署と合同パトロール、安全講習会を実施 ・ 林業事業体が森林管理署の安全大会に参加 <p>【平成23年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐等521haについて、一般競争入札により請負発注 ・ 労働基準監督署と合同パトロール、安全講習会を実施 ・ 林業事業体による森林管理署の安全大会への参加 | |
| | 国有林担当部局・役割 | 森林管理署総務課及び業務課 （企画・実行） |
| | 連携協働相手先・役割 | 労働基準監督署、林業事業体 （企画・実行・講師・協力） |
| 取組の結果、反響、今後の課題等 | <p>請負事業体の事業量確保に一定の貢献が出来ました。今後とも安定した発注が必要です。</p> <p>労働基準監督署との連携による安全パトロールや林業事業体の安全大会への参加は、事業体の安全意識の高揚に繋がりました。</p> | |
| PRの実施状況及びその期待する効果 | <p>PR：安全対による林業事業体への周知等。</p> <p>効果：「森林・林業再生プラン」の確実な推進に向けて、その役割の一役を担う林業事業体の育成強化が期待されます。</p> <p>：兵庫県内における林業労働安全の確保が期待されます。</p> | |
| | | |

【 参 考 資 料 】

| | |
|-------|-------------------------|
| 取 組 名 | 森林吸収源対策による林業事業者の育成等（継続） |
|-------|-------------------------|

○林業事業者も参加した兵庫森林管理署安全大会



○生産現場で労働基準監督署と合同パトロール（宍粟市：天児家国有林）



平成23年度 実施結果

| | | |
|-------------------|---|---|
| 取 組 名 | 都市近郊林における治山事業（継続） | |
| 流 域 名 | 揖保川・加古川 | |
| 実施箇所及び実施日 | 北中山国有林外へ工事を発注（平成23年4月～平成24年3月） | |
| 取組の背景及び必要性 | <p>都市近郊林に点在する国有林は、住宅等密接している箇所が多く、防災・住宅環境上の観点から森林整備が求められています。</p> <p>また、事業実施にあたり、地域住民への事前説明等によるコンセンサスを得る必要があります。</p> | |
| 取 組 の 内 容 | <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防治山による山腹工の実施 ・ 保安改良事業の実施、丸太筋工の実施 <p>【平成23年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共生保安林整備事業として、溪間工及び防火貯水池を実施（北中山） ・ 災害時の応急措置として被災箇所の土砂等の除去を実施（清水坂） ・ 防災林造成事業として地拵・植付を実施（草谷・大谷山） ・ 山火事跡地への地拵・植付を実施（別所奥山・高御倉） ・ 本数調整伐、現地発生材を利用した丸太筋工を実施（鶏籠山） ・ 山腹工の実施（鶏籠山・北中山） ・ 事業実施にあたっては、地元住民への説明会を実施（清水坂応急作業、北中山溪間工） | |
| | 国有林担当 部局・役割 | 森林管理署治山課 <div style="text-align: right;">（企画・実行）</div> |
| | 連携協働相 手先・役割 | 地元住民 <div style="text-align: right;">（理解・協力）</div> |
| 取組の結果、反響、今後の課題等 | 都市近郊における治山事業は、地元住民の理解が不可欠であり、実施した事業については、全て理解が得られました。 | |
| PRの実施状況及びその期待する効果 | PR：地元説明会等 効果：PRも兼ねた説明会を開催することにより、国有林への理解と協力が得られます。 | |
| | | |

【 参 考 資 料 】

取 組 名 都市近郊林における治山事業（継続）



○台風12号（H23年9月）による被害状況（加古川市：国有林下流地区）



○土砂等除去後（同上）



○治山工事（谷止工事）
（宝塚市：北中山国有林）

平成23年度 実施結果

| | |
|-------------------|---|
| 取 組 名 | 公共土木事業等における国産材利用の推進（継続） |
| 流 域 名 | 揖保川・加古川・円山川流域 |
| 実施箇所及び実施日 | 藤ヶ谷林道の新設発注（平成23年7月～平成24年2月） 赤西国有林の山腹工外を事業発注（平成23年4月～平成24年3月） |
| 取組の背景及び必要性 | 農林水産省では、平成22年12月に「新農林水産省木材利用促進計画」を策定しました。公共土木工事、庁舎等、備品、消耗品などへの木材利用に取り組む必要があります。 |
| 取組の内容 | <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木、治山工事における木材の使用 ・各種会議において国産材、間伐材の利用についてPR <p>【平成23年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤ヶ谷林道新設工事（木柵工）に186m³の木材を利用（宍粟市千種町の民有林） ・赤西国有林外治山工事（山腹工、溪間工）に125.53m³の木材を利用 |
| 国有林担当部局・役割 | 森林管理署業務課、治山課 （企画・実行） |
| 連携協働相手先・役割 | 兵庫県、市町 （企画・協力） |
| 取組の結果、反響、今後の課題等 | 前年度に続き土木、治山工事において、木材を利用することが出来ました。今後とも工夫を重ねながら木材利用に努めていきます。 |
| PRの実施状況及びその期待する効果 | PR：各種会議等 効果：木材自給率の50%に向け、国自ら国産材を利用していくことで、木材利用を推進することへの理解が得られます。 |
| | |

【 参 考 資 料 】

| 取 組 名 | 公共土木事業等における国産材利用の推進（継続） |
|-------|-------------------------|
|-------|-------------------------|



○木材を利用した林道工事
（宍粟市内民有林：藤ヶ谷林
業専用道木柵工）
（186m³使用）



○木材を利用した治山工事
（宍粟市：赤西国有林
山腹工事）
（19m³使用）



○木材を利用した治山工事
（宍粟市：阿舎利国有林
溪間工事）
（31m³使用）

平成23年度 実施結果

| | |
|-------------------|--|
| 取組名 | 緑の回廊をフィールドとした野生鳥獣との共生（継続） |
| 流域名 | 揖保川・円山川流域 |
| 実施箇所及び実施日 | モニタリング調査を実施（平成23年6月～平成24年2月） 地元住民による巡視（平成23年6月～平成23年11月） |
| 取組の背景及び必要性 | 野生動植物の生息・生育地の拡大と相互交流を図るために「東中国山地緑の回廊」が設定されました。その機能・目的を効果的に発揮させる取組が必要です。 |
| 取組の内容 | <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・局主催の会議（連絡調整会議）に出席し、情報収集、意見交換を実施 ・上山高原エコミュージアムと協力して自然観察会、巡視を実施 ・イヌワシ研究会の協力の下、イヌワシの餌場となる試験地を設定 <p>【平成23年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑の回廊エリアのモニタリング調査を実施 ・地元住民（2団体）による巡視を実施 ・局主催の会議やワークショップ（トレッキング他）に出席し、意見交換の実施 |
| 国有林担当部局・役割 | 近畿中国森林管理局計画課、指導普及課、森林管理署業務課 (企画・実行) |
| 連携協働相手先・役割 | 兵庫県、新温泉町、養父市、香美町、上山高原エコミュージアム、日本イヌワシ研究会 (企画・実行・協力) |
| 取組の結果、反響、今後の課題等 | 連絡調整会議と連携しつつ、緑の回廊におけるモニタリング調査を行いました。また、地元住民による巡視では、緑の回廊内の貴重な野生動植物や森林被害など目撃情報の収集が可能となりました。 |
| PRの実施状況及びその期待する効果 | PR：各機関の広報誌及びプレスリリース。 効果：ワークショップでは、各機関が連携し、それぞれの特色を活かした取組内容となっており、開催することにより今後も緑の回廊等の普及啓発が期待されます。 |
| | |

【 参 考 資 料 】

| | |
|-------|---------------------------|
| 取 組 名 | 緑の回廊をフィールドとした野生鳥獣との共生（継続） |
|-------|---------------------------|

○東中国山地緑の回廊ワークショップ（鳥取県若桜町）



○同上（氷ノ山自然探勝路トレッキング）



平成23年度 実施結果

| | |
|-------------------|---|
| 取 組 名 | 森林環境教育への積極的な支援と遊々の森の活用（継続） |
| 流 域 名 | 揖保川・加古川・円山川流域 |
| 実施箇所及び実施日 | 遊々の森（宝塚教育委員会）の検討会を開催 （平成23年4月～平成24年2月） |
| 取組の背景及び必要性 | 平成21年度に宝塚市と遊々の森協定を締結しました。宝塚市教育委員会では、先生たちの森林環境教育に関するレベルアップが検討されています。 |
| 取組の内容 | <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の先生等を対象に森林環境教育を実施 ・ 森林の広場、ふれあいの森を利用し、森林教室等を開催 <p>【平成23年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宝塚市教育委員会と「遊々の森」活動について検討会を実施 |
| 国有林担当部局・役割 | 森林管理署業務課 （企画・実行） |
| 連携協働相手先・役割 | 兵庫県、兵庫県教育委員会、宝塚市、宝塚市教育委員会 （企画・実行・協力） |
| 取組の結果、反響、今後の課題等 | 今年度の「遊々の森」の活動は未実施でしたが、取組内容等について検討を行いました。また、来年の「遊々の森全国大会」について参加要請を行いました。 |
| PRの実施状況及びその期待する効果 | PR：宝塚市教育委員会から広報 効果：森林林業に対する国民の理解が深まることにおいて、学校教育を通じて国民全体への広がりが期待できます。 |
| | |

平成23年度 実施結果

| | | |
|-------------------|--|--|
| 取 組 名 | 中学生・高校生の職場体験学習受け入れによる国有林のPR（継続） | |
| 流 域 名 | 揖保川・加古川流域 | |
| 実施箇所及び実施日 | トライやるウィークを実施（平成23年5月30日～6月3日） インターンシップを実施（平成23年11月21日～22日） | |
| 取組の背景及び必要性 | 学習の場を教育から地域へと移動する事により、地域との関わり、将来の社会人としての自覚を育てるということを目的に、中学・高校から生徒の受け入れ要請があります。 | |
| 取 組 の 内 容 | <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生・高校生の職場体験等を受け入れ、森林環境教育を実施 <p>【平成23年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライやるウィーク：山崎西中学校2年生を一週間受け入れ、立木調査や測量、枝打・間伐作業、林道クリーン活動を実施 ・インターンシップ：山崎高校の生徒を受け入れ、保護林や緑の回廊、治山事業施工地、生産事業地の見学、及び植付の実習 | |
| | 国有林担当部局・役割 | 森林管理署業務課、治山課 （企画・実行） |
| | 連携協働相手先・役割 | 山崎西中学校、山崎高校 （企画・実行） |
| 取組の結果、反響、今後の課題等 | 生徒たちは、ふだん学校では出来ないことややってみたいと思う体験、森林環境を守り森林を育て保護していくための基礎的な知識・技術を学ぶことができました。 | |
| PRの実施状況及びその期待する効果 | PR：中学校、高校からの広報 効果：学校からの受け入れを応えていくことにより、森林に携わる幅広い担い手の育成効果や国有林へのサポートに期待できます。 | |
| | | |

【 参 考 資 料 】

取 組 名 中学生・高校生の職場体験学習受け入れによる国有林のPR（継続）

○トライやるウィーク（山崎西中学校）

立木調査



林道で集めた空き缶類



○現場見学実習（山崎高校森林環境科）

植付作業



生産現場見学



平成23年度 実施結果

| | |
|-------------------|--|
| 取組名 | 宍粟市におけるみどりの交流等（継続） |
| 流域名 | 揖保川流域 |
| 実施箇所及び実施日 | 宍粟市内観光イベントに参加：（平成23年6月4日～5日、7月24日） 企業の森イベントを実施：（平成23年4月15日、8月20日、10月29日） |
| 取組の背景及び必要性 | 森林林業に関する宍粟市内で行われる各種行事は、周辺住民も含め関心が高く、多種多様な活動が求められています。 |
| 取組の内容 | <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で行われる観光イベントへの参加、協力 ・自然観察会等の開催に伴う整備、実施に協力 ・「宍粟50名山」の整備、登山会に協力 <p>【平成23年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山崎さつき祭」等に参加し国有林をPR ・「道の駅山崎夏フェスタ」に参加し、署の取組、国際森林年などPR ・「宍粟50名山」の整備、登山会に協力 ・赤西国有林（宍粟市）の企業の森において、（株）日本触媒、NP0ひょうご森の倶楽部とCSR活動（間伐作業・歩道整備など）を3回実施 |
| 国有林担当部局・役割 | 森林管理署業務課 （企画・実行・協力） |
| 連携協働相手先・役割 | 宍粟市、しそく観光協会、しそく森林王国協会、国有林OFF会、 （株）日本触媒 （企画・実行・協力・講師） |
| 取組の結果、反響、今後の課題等 | イベントでは、森林・林業や国有林、国際森林年などについてPRが出来ました。また、企業の森では、森林整備の体験を通じて、源流域の森林と企業との繋がりが出来ました。 |
| PRの実施状況及びその期待する効果 | PR：主催機関による広報、プレスリリース 効果：企業、一般参加者など多数が見込まれ、森林・林業や国有林のPRが可能です。 |
| | |

【 参 考 資 料 】

| 取 組 名 | 宍粟市におけるみどりの交流等（継続） |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">○山崎さつき祭（宍粟市） 兵庫森林管理署ブース</p>  | <p style="text-align: center;">木エクラフト</p>  |
| <p style="text-align: center;">○道の駅山崎夏フェスタ（宍粟市）</p>  | <p style="text-align: center;">○企業の森 植栽（宍粟市：赤西国有林）</p>  |
| <p style="text-align: center;">○企業の森 歩道整備（同右上）</p>  | <p style="text-align: center;">○企業の森（同上）</p>  |

平成23年度 実施結果

| | |
|-------------------|--|
| 取 組 名 | ボランティアグループ等による森林整備・歩道整備等（継続） |
| 流 域 名 | 揖保川・加古川流域 |
| 実施箇所及び実施日 | 森林に親しむ会外各ボランティア団体による活動 （平成23年4月～平成24年3月） |
| 取組の背景及び必要性 | 森林ボランティア活動、ふれあい体験に対する要望が高まっており、地域住民等からの要請に応える必要があります。 |
| 取組の内容 | <p>【これまでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市近郊の里山国有林において、歩道整備、林内清掃、不法投棄の見回り、森林の整備など地域住民の意向を反映したボランティア活動を受け入れ、国有林への理解と協力体制を形成 <p>【平成23年度の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林に親しむ会、BG未来の家、大藤山BGなどのボランティア活動に国有林をフィールド提供し、下刈り、つる切り、間伐などの森林整備や、歩道修理、自然観察会など実施 |
| 国有林担当部局・役割 | 森林管理署業務課 （企画・実行・協力） |
| 連携協働相手先・役割 | 森林に親しむ会、ボランティアグループ未来の家、大藤山ボランティアグループ外 （企画・実行・協力・講師） |
| 取組の結果、反響、今後の課題等 | NPO団体等の組織強化や活動を通じて国有林への理解が深まりました。 |
| PRの実施状況及びその期待する効果 | PR：主催機関による広報 効果：国有林のサポーターとして、各機関の活動を通じ、国有林への支援・理解が得られます。 |
| | |